

堺の津南蛮船の行き交へば

春秋いかに入りまじりけむ

歌 意

会合衆の自治によって治められ、南蛮貿易の港としてにぎわった堺の歴史にはさまざまな出来事があったことでしょう。

掲出歌集 収録なし 昭和5（1930）年（晶子52歳）



- ・所在地 堺市立中央図書館前（堺区大仙中町 18 - 1）
南海バス大仙公園西下車
またはJR百舌鳥駅より西へ徒歩 8 分
- ・建 立 昭和 53 年 10 月 12 日 与謝野晶子生誕 100 年記念
事業委員会
- ・デザイン 白石正義
- ・書 辻川穆堂（書家）
- ・連絡先 堺市立中央図書館 072-244-3811

与謝野晶子生誕 100 年を祝し、建立された。碑は、壁面には堺の特産品でもあった赤煉瓦が使用され、晶子のレリーフが施されている。裏面には故人江春行氏による解説がある。歌碑の傍に晶子の大好きだった大島桜が植えられた。除幕は晶子の長男与謝野光博士、献花は光夫人の与謝野迪子さん（与謝野家の後援者であった小林天眠氏の三女）がされた。

歌は、昭和 5 年「堺市史」完成によせ、それを祝って晶子が東京から電報で堺市に贈ったものである。堺の歴史の中でもっとも華やかな時代を詠んだスケールの大きな晶子らしい歌である。

※図書館正面前には、晶子と親交のあった堺生れの詩人河井醉茗の生誕 100 年、没後 10 年を記念し、昭和 51（1976）年 5 月「ゆずり葉」の詩碑も建立されている。